

事業所自己評価・ミーティング様式		実施日		令和 6 年 10 月 20 日	
1. 初期支援（はじめのかかわり）		メンバー		徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	4 人	2 人	人	6 人

前回の改善計画	既存のアセスメント用紙を現在は使っているが職員が見やすいアセスメント用紙を作成する
前回の改善計画に対する取組み結果	アセスメント用紙の作成は日々、改修をしており少しずつ全職員が見やすいものが出来つつある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？		6			6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	1	4	1		6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか？	1	5			6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？		6			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員間での話し合いにて最善の支援を考えている。 事前情報を基に利用者のニーズの把握を行っている。 入所後、利用者の状態を他の職員と共有している。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 利用開始時に必要用品がない時がある。 更新が遅れている。 シフト勤務のため、全職員が一斉に会議ができない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
全職員が利用者の支援方法がわかるように周知方法を考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
------------------	-----	------------------

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田
-----------------------	------	-------------------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1 人	5 人	人	6 人

前回の改善計画	利用者一人一人の「～したい」をどのように実現、支援していくかを含めたケア会議を行い持続可能な支援を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	最初の頃は頻繁にケア会議をしていたがだんだんケア会議をする時間が取れなくなってきて少数での話し合いになってしまった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3	3		6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		3	3		6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		1	5		6
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		1	5		6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
買い物支援などはできている。 帰宅願望のある利用者の支援については家族の意向も聞きながら日時を職員で話し合い設定することができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ケア会議が一時は席について毎日おこなっていたが現在はできていない。 一人一人の「～したい」を対応できる余裕がない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
ケア会議を継続してできるようにケア会議の方法を見直す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
3. 日常生活の支援	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	3 人	2 人	1 人	6 人

前回の改善計画	
アセスメントシートの更新を全職員ができるような仕組みに変え、更新の頻度を上げる。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
更新のできる職員は増えたが、更新の頻度はあまり変化がない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？		1	5		6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	4			6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？		3	3		6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	3	3			6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	5			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者の状態把握はできているため適切な介護サービスを提供出来ている。 日々の状態変化については業務日誌等報告、申し送りを行えている。 コミュニケーションがとれており状態の変化に気づくことができる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
訴えのあることについては対応を考えられるが訴えがないことについては対応ができていない。 憶測になってしまうため発言が難しい。 自宅での生活環境について把握できていない利用者もいる。 新規の利用者の情報が少ない。(急に利用になったりするため)	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
アセスメントシートの更新の頻度を上げれるように期間を決めて確認する等方法を考え実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2 人	3 人	1 人	6 人

前回の改善計画	
地域資源を活用し、地域との関わりを維持したケアの実施	
前回の改善計画に対する取組み結果	
一部の地域が近い利用者はできているが、地域が遠いところの利用者はほとんど出来ていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		4	2		6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		4	2		6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		3	3		6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1	5		6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
デイ利用時に休みをどう過ごしたか確認している。 利用者の情報等を家族とLINEでやり取りをしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
民生委員の仕事の内容を把握していない。 地域資源の確認を行っていない。 LINEで繋がっていない家族とは、連絡が取りにくい場合がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域資源を活用し、地域との関わりを維持したケアの実施	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2 人	2 人	2 人	6 人

前回の改善計画	
活用できる地域資源を積極的に活用し利用者ケアに生かす	
前回の改善計画に対する取組み結果	
地域資源を積極的に活用出来ていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？		2	1	3	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？		5	1		6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？		6			6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	1	5			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
職員同士での情報共有を行い必要時、訪問するなど支援を行えている。 利用者の状態把握に気をつけている。 おむつ支援等を活用している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「地域資源」について把握出来ていない。 地域との交流ができていない。 地域資源の更新ができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域資源を積極的に活用できるように地域との交流機会を考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
6. 連携・協働	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	2 人	人	4 人	6 人

前回の改善計画	
事業所全体での地域への関わりを強化する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
地域への職員の関わりがほとんどなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2	1	3	6
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？		1		5	6
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		1		5	6
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		2		4	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
一部の職員は会議に参加している。 近所の高齢者が時々来られることがある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
イベント等の参加がほとんど出来ていない。 会議等の参加もいつも同じ職員しか参加していない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
事業所全体での地域への関わりを強化する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
7. 運営	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	1 人	人	5 人	6 人

前回の改善計画	
運営推進会議以外での地域からの意見を聞ける機会を設ける。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
地域からの意見を聞ける機会を設けることができていません。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？		2	2	2	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？		4		2	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		1	2	3	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		1	1	4	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者や介護者の意見の聞き取りを実施している。 苦情には対策を考えてすぐに対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域交流ができていない為、地域からの意見が聞けない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
地域交流ができない原因を考え、地域交流ができるように対応する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
8. 質を向上するための取組み	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	4 人	2 人	6 人

前回の改善計画	
職員の苦手な分野の研修の実施	
前回の改善計画に対する取組み結果	
外国人職員への研修は実施できたが、日本人職員への研修はできていない。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか			2	4	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか			2	4	6
③	地域連絡会に参加していますか			2	5	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		2	1	3	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
常に危険だと意識しヒヤリや事故を振り返り次に活かせるようにしている。 ヒヤリハット、事故報告書の記入後、対策については職員で話し合ったうえであげるようにしている。 新人への指導においては事故がないように説明をするようにしている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
研修を行えていない。 伝わっていない部分もある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
情報収集をして多種の研修案内をして研修に参加しやすい状況をつくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 6 年 10 月 20 日
9. 人権・プライバシー	メンバー	徳田・田中・柳瀬・川井・羽柴・矢田

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？	人	人	人	1	6 人

前回の改善計画	外国人の職員にも分かるように身体拘束や虐待について研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	身体拘束や虐待については映像等を見せてしてはいけないことを学習してもらいました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	身体拘束をしていない	1	5			6
②	虐待は行われていない	3	3			6
③	プライバシーが守られている	1	5			6
④	必要な方に成年後見制度を活用している		1		5	6
⑤	適正な個人情報の管理ができています		6			6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束や虐待に触れる行為について勉強している。 カーテン・扉の開閉に気を付けている。 身体拘束しないで利用者の安全を確保できるように考えている。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 今までの生活環境の違いなどで伝わっていない部分もある。 成年後見制度を活用している利用者がいない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 外国人にもいろいろな虐待あることを学習してもらう。
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 介護支援ネットワーク	代表者	理事長 森本 幸一郎	法人 事業所 の特徴	事業所敷地内に庭園があり、四季折々の花が咲きます。通い・訪問・宿泊の3つのサービスを組み合わせ、利用者の今までの暮らしに合わせた個々の支援をさせて頂いてます。自宅に居るのと同じような環境で過ごして頂けます。交流館を併設し、桜、さつき、紅葉の時期には外部からの来訪者も多く、利用者にとっては地域の方との交流を楽しめるような環境作りをしています。
事業所名	夢の元気村	管理者	徳田 勝弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	1 人	人	1 人	1 人	人	1 人	人	5 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	地域資源の見直しと新たな地域資源の発見をする。	地域資源の見直しをして活用できることは活用できた。	地域資源を活用できているのかが外部に見えない為わからない。	事業所として外部への情報の公開ができるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	殺菌、消毒の徹底をし感染予防対策をしっかりとる。	殺菌、消毒の徹底ができていた為に感染症が流行ることはなかった。	外部から見ても綺麗にされていると感じた。	施設内の消毒、殺菌だけでなく施設外の清掃、消毒も徹底する。
C. 事業所と地域のかかわり	地域資源を活かして研修等を行い地域との繋がりを深くする。	地域との関わりが持てなかった。	コロナ禍より地域での活動自体が少ないので仕方がない部分もある。	地域資源を活かして研修等を行い地域との繋がりを深くする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者が望む生活ができるように地域資源を利用した支援体制を考える。	できるように地域資源を調べて職員間で何度か話をして支援体制を考えました。	地域で一人暮らしが心配な利用者は訪問等で様子をみてもらっていることが多くあるので安心してしている。	利用者と共に地域のイベント等に参加して地域との繋がりを維持する支援を考える。
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営推進会議を通じての地域との関わりを考える。	運営推進会議で地域との関わりに関して話をすることが出来た。	改善計画に取り組んでいることはわかる。	運営推進会議で事業所への周りからの意見を聞き改善案へ役立てる。
F. 事業所の防災・災害対策	年2回の消防避難訓練、年1回の土砂災害避難訓練を実施する。	年2回の消防避難訓練、年1回の土砂災害避難訓練を実地できた。	消防訓練や土砂災害避難訓練が出来ているのかが外部からは分からない。	消防訓練等を実施していることが外部からもわかるような仕組みを考える。